



雪印メグミルク

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2019年11月8日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2270 URL <https://www.meg-snow.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 渡邊 健太郎 TEL 03-3226-2124
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	311,625	2.0	10,637	10.9	11,733	14.4	7,703	20.0
2019年3月期第2四半期	305,369	0.6	9,587	△13.4	10,253	△13.0	6,422	△10.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 8,210百万円 (18.3%) 2019年3月期第2四半期 6,941百万円 (△8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	113.79	—
2019年3月期第2四半期	94.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	362,734	174,170	47.2	2,528.59
2019年3月期	359,445	168,782	46.3	2,456.35

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 171,181百万円 2019年3月期 166,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	615,000	1.9	18,000	4.5	19,500	2.6	12,000	11.6	177.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	70,751,855株	2019年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,053,463株	2019年3月期	3,051,487株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	67,699,430株	2019年3月期2Q	67,808,930株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

当社は、2019年11月8日（金）にアナリスト、機関投資家向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明会資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

(補足説明資料)

2020年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、景気は緩やかに回復しておりますが、輸出を中心に弱さもみられます。

今後も緩やかな回復の継続が期待される一方で、国内では海外経済の不確実性による輸出・生産に対する懸念が、国外では通商問題を巡る緊張、中国経済の先行きなどの海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に対する懸念があります。

個人消費は実質総雇用者所得の緩やかな増加、および雇用情勢の改善を背景に持ち直しているものの、消費者マインドは弱含み、節約の動きも継続して見られます。また、2019年10月からの消費税率引上げによる消費の動向にも留意が必要です。

食品業界においては、人手不足を背景とした物流コストや人件費に加えて、原材料コストの上昇も続いていることから、コストの上昇を価格に転嫁する動きも広がっております。これらの情勢に加え乳業界においては、2019年4月からの生乳取引価格の引き上げを含む大幅なコストアップもあり、厳しい環境が続いております。人口減少や高齢化の進展とともに世帯構成は変化し、ライフスタイルが変わる中で消費者の価値観は多様化しており、機能を訴求する商品の投入が増える一方で、低価格を訴求する商品の投入も見られるなど、多様な需要に対応する商品や市場が新たに生まれております。

このような経営環境下、当社グループは「グループ中期経営計画2019」に基づき、収益基盤の複数化およびキャッシュ・フローの最大化に取り組み、機能性ヨーグルトなどの高付加価値商品およびチーズなどの主力商品の販売拡大に伴うプロダクトミックスの改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模の拡大、ならびにグループ経営資源やバリューチェーンの最大活用によるグループ総合力の強化等に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は311,625百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は10,637百万円（前年同期比10.9%増）、経常利益は11,733百万円（前年同期比14.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,703百万円（前年同期比20.0%増）となりました。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、雪印メグミルクインドネシア株式会社(PT. MEGMILK SNOW BRAND INDONESIA)及びアダーデライツオーストラリア有限会社(Udder Delights Australia Pty Ltd)は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は122,034百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は5,209百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

売上高は、バターは安定供給に引き続き努める中で、堅調に推移しました。油脂は縮小傾向の続く市場の影響もあり、増量キャンペーンなどのプロモーション活動を展開しましたが減収となりました。チーズは減収となりましたが、食べ方提案などの新たな価値の訴求に向けたプロモーション活動を展開し、市場での優位性が高い商品群は好調に推移しました。機能性食品は特定保健用食品の毎日骨ケアMBPがマーケティング投資の継続により伸長しました。これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、宣伝促進費の効率的な運用に取り組んだ効果が増益要因としてあったものの、固定経費やオペレーションコストなどが増加したことから減益となりました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は147,246百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は3,557百万円（前年同期比59.9%増）となりました。

売上高は、飲料は市場低迷の影響もあり減収となりました。ヨーグルトは「ガセリ菌SP株」の内臓脂肪を減らす機能性を伝えるプロモーション活動の継続を含め、それぞれの商品の持つ価値の訴求強化に取り組んだことから増収となりました。デザートは新商品の発売等、商品力の強化に取り組む中で前年並みの推移となりました。これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、生乳取引価格の引き上げの影響などによる原材料コストやオペレーションコストの増加があったものの、価格改定の実施に伴う販売単価差の影響や宣伝促進費の効率的な運用に取り組んだ効果などにより大幅な増益となりました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売が含まれております。

売上高は23,882百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は1,140百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

売上高は、飼料の販売物量増加等により増収となった一方、牧草・飼料作物種子の売上減少等により当セグメント全体では前年並みとなりました。

営業利益は、牧草・飼料作物種子の売上減少や原価上昇の影響等により減益となりました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は18,461百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は709百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3,288百万円の増加となりました。

これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金や、商品及び製品、原材料及び貯蔵品、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が増加したことなどによります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して2,099百万円の減少となりました。

これは主に、電子記録債務が増加した一方で、支払手形及び買掛金や長期借入金が減少したことなどによります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して5,387百万円の増加となりました。

これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、12,938百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、13,639百万円の収入（前年同期は11,886百万円の収入）となりました。

前年同期との比較では、主に、たな卸資産の増減額が増加し、また、仕入債務の増減額が減少した一方で、売上債権の増減額が減少したことなどにより、1,752百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、9,924百万円の支出（前年同期は9,131百万円の支出）となりました。

前年同期との比較では、主に定期預金の払戻による収入が減少し、また、有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、793百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5,211百万円の支出（前年同期は3,907百万円の支出）となりました。

前年同期との比較では、長期借入金の返済による支出が減少したものの、短期借入金の純増減額が減少したことなどにより、1,303百万円の支出増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日の決算短信にて公表した業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,366	13,000
受取手形及び売掛金	74,727	75,642
商品及び製品	40,673	41,295
仕掛品	991	1,586
原材料及び貯蔵品	14,026	14,910
その他	4,446	4,326
貸倒引当金	△368	△359
流動資産合計	148,863	150,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,970	46,259
機械装置及び運搬具(純額)	53,225	52,363
土地	49,849	49,924
その他(純額)	12,258	15,745
有形固定資産合計	162,304	164,293
無形固定資産		
のれん	—	755
その他	3,206	3,056
無形固定資産合計	3,206	3,812
投資その他の資産		
投資有価証券	35,491	34,730
繰延税金資産	2,925	2,917
その他	7,039	6,943
貸倒引当金	△384	△366
投資その他の資産合計	45,072	44,225
固定資産合計	210,582	212,331
資産合計	359,445	362,734

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,930	56,188
電子記録債務	5,091	7,187
短期借入金	19,957	19,193
未払法人税等	1,848	3,727
賞与引当金	4,990	5,090
その他	27,105	25,273
流動負債合計	117,924	116,660
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	35,835	34,762
繰延税金負債	1,291	1,149
再評価に係る繰延税金負債	3,956	3,956
役員退職慰労引当金	20	20
ギフト券引換引当金	88	84
退職給付に係る負債	9,396	9,219
資産除去債務	1,713	1,674
その他	10,435	11,037
固定負債合計	72,738	71,903
負債合計	190,662	188,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,586	17,606
利益剰余金	116,474	121,177
自己株式	△4,942	△4,947
株主資本合計	149,117	153,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,471	10,745
繰延ヘッジ損益	△154	△170
土地再評価差額金	8,818	8,818
為替換算調整勘定	8	△244
退職給付に係る調整累計額	△1,966	△1,803
その他の包括利益累計額合計	17,177	17,345
非支配株主持分	2,487	2,988
純資産合計	168,782	174,170
負債純資産合計	359,445	362,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	305,369	311,625
売上原価	232,144	237,539
売上総利益	73,224	74,085
販売費及び一般管理費	63,636	63,448
営業利益	9,587	10,637
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	252	410
持分法による投資利益	473	582
その他	469	570
営業外収益合計	1,204	1,568
営業外費用		
支払利息	251	154
その他	288	318
営業外費用合計	539	472
経常利益	10,253	11,733
特別利益		
固定資産売却益	19	8
その他	88	0
特別利益合計	107	8
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	535	622
減損損失	41	162
その他	712	57
特別損失合計	1,289	843
税金等調整前四半期純利益	9,071	10,897
法人税等	2,508	3,067
四半期純利益	6,563	7,830
非支配株主に帰属する四半期純利益	141	126
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,422	7,703

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	6,563	7,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	490	290
繰延ヘッジ損益	69	△16
為替換算調整勘定	△284	△72
退職給付に係る調整額	95	187
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△8
その他の包括利益合計	377	380
四半期包括利益	6,941	8,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,793	8,072
非支配株主に係る四半期包括利益	147	138

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,071	10,897
減価償却費	7,744	8,095
減損損失	41	162
持分法による投資損益(△は益)	△473	△582
のれん償却額	—	47
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△208	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	△192	100
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△201	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△161	△59
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△5	△4
固定資産除売却損益(△は益)	516	615
受取利息及び受取配当金	△261	△415
支払利息	251	154
売上債権の増減額(△は増加)	△6,975	△512
たな卸資産の増減額(△は増加)	469	△1,700
仕入債務の増減額(△は減少)	730	△817
その他	3,425	△998
小計	13,769	14,954
利息及び配当金の受取額	317	473
利息の支払額	△238	△195
法人税等の支払額	△1,961	△1,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,886	13,639
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22	—
定期預金の払戻による収入	502	—
貸付けによる支出	△25	△28
貸付金の回収による収入	2	24
有形及び無形固定資産の取得による支出	△9,727	△9,924
有形及び無形固定資産の売却による収入	70	94
投資有価証券の取得による支出	△15	△105
投資有価証券の売却による収入	47	—
その他	35	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,131	△9,924

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,246	8
長期借入金の返済による支出	△3,067	△2,152
自己株式の取得による支出	△7	△5
配当金の支払額	△2,706	△2,705
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△370	△354
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,907	△5,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62	△37
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,215	△1,533
現金及び現金同等物の期首残高	14,076	14,303
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	168
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,860	12,938

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	117,457	145,281	23,906	286,644	18,724	305,369	—	305,369
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,805	41	456	7,303	6,285	13,589	△13,589	—
計	124,262	145,322	24,362	293,948	25,009	318,958	△13,589	305,369
セグメント利益	5,370	2,224	1,215	8,810	714	9,525	62	9,587

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 62百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	122,034	147,246	23,882	293,163	18,461	311,625	—	311,625
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,378	51	474	6,905	6,285	13,190	△13,190	—
計	128,412	147,298	24,357	300,068	24,747	324,815	△13,190	311,625
セグメント利益	5,209	3,557	1,140	9,907	709	10,616	20	10,637

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 20百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。